

# 一般質問発言通告書

発言順位 16番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和5年11月28日

三島市議会議長 藤江 康儀 様

三島市議会議員 3 番 村田 耕一

質問事項 1	ウェルビーイング
具体的内容	ウェルビーイングとは身体的、精神的、社会的に良好で満たされた状態を指し、幸せとも訳される。ここを目指しての取り組みについて以下に伺う。
1	令和6年4月1日から孤独・孤立対策推進法が施行されるが、相談窓口の拡充及び関係者団体の連携協働について、ふじのくに孤独・孤立対策プラットフォームへの参加について伺う。
2	令和5年6月に共生社会の実現を推進するための認知症基本法が制定されたが、市としての認知症対策計画の策定についてどう考えているか。
3	人と人のつながりを強くするため、また認知症予防のためその啓発と食事などを通して、地域の居場所づくりを実践している所があるが、補助金支出や周知などでその取り組み支援ができないか。
4	シルバー人材センターに市から仕事を発注しているものがあるが、その労働条件や労働環境について働きやすいように考慮しているか。
5	20～39歳の若年がんの約8割が女性でそのうち乳がんが34.2%である。そこで、乳がん検診（問診、超音波検査）を30歳代から行うことはできないか。
質問事項 2	通学路の安全確保
具体的内容	9月29日の午前7時30分頃幸原町の通学路で小学生2名が車に衝突されけがを負う事故が発生した。ここは道路幅が狭く車のすれ違いが難しいところであるが、子どもの安全はひとえにドライバーに託されている状況である。 10月13日には関係者による現場立ち合いが行われ、関係者からの要望を確認し、要望書も提出されていると伺う。改善の実現に向けて以下に伺う。
1	通学時間帯での交通一方通行規制が最適と考えるが市としてどう考えているか。
2	交通規制を警察に要望する一方、この交通規制を実現できるよう動いて頂きたいかがか。
質問事項 3	清掃センターの将来設計とごみの長さ規制緩和
具体的内容	将来の一般廃棄物の処理施設について三島市ではどの方向を選択していくのか。県では令和4年度から一般廃棄物処理広域化マスタープランを策定し、長期的な展望で広域化等をした場合の施設整備の方向性を検討するとしている。東部地域では三島市、裾野市、長泉町、函南町、熱海市の広域化が示されているが、10月31日の記事によると、裾野市では民間焼却施設への業務委託をまず第一選択枝とし、周辺市町との広域連携に向けた協議も同時並行で進めるとしている。 三島市も早い時点で方向性を決めていく必要があるのではないかと考え、以下に伺う。
1	三島市では単独か、広域化かいつまでに決定するのか。
2	広域化を考えるなら裾野市との連携は重要になると考えるが連携状況を伺う。
3	燃えるゴミで出せる剪定枝などは50cm以下、巻き付くものや草などは30cm以下でないと受け付けていないが、粉碎機を導入して長さ制限の緩和ができないか。